

1.提案していただいた地域課題

資料 1

分野		提案者	地域課題（案）	提案理由
1	地域防災	事務局	地域防災力の向上	一昨年に発生した熊本地震のような大規模災害にも対応できるようにするためには、どうすればよいのかを議論したい。
2	地域防災	委員	地域防災力の向上	画図校区地区で防災訓練が行われていない。
3	地域防災	委員	自然災害（地震）に対する市民の心構えと対応力	この世の中で人間が理解できないものは殆どありませんが、自然災害の地震の発生時期と規模は解明されていません。地震のメカニズムは、いつ・どこで発生するのか解らない「災害異常発生時代」を享受しています。
4	防犯（子どもの見守り）	委員	登下校時の児童生徒の見守り体制の工夫と強化	桜木小でも4月9日に、また先日、新潟でも起きたように事件が後を絶たないので。
5	防犯（子どもの見守り）	委員	子供の見守り	
6	福祉（被災者支援）問題	事務局	熊本地震で被災された方への支援について	東区内では今なお2,700世帯の方々が仮設住宅やみなし仮設住宅で不自由な生活を余儀なくされているため、一日も早い生活と住まいの再建を図る必要がある。 併せて、仮設住宅等を出た後も地域での孤立化を防ぐためにはどうすればよいのかについても議論していきたい。
7	福祉（高齢者・障がい者・子育て）問題	事務局	東区地域包括ケアシステムの周知・推進	・団塊の世代が75 歳以上となる2025 年（平成37 年）以降、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれる中、東区においても、後期高齢者が増加し、要介護（支援）者や認知症高齢者が急増することが見込まれる。 ・平成29年4月に「熊本市地域包括ケアシステム推進方針」を策定し、東区においても、「東区地域包括ケアシステム推進方針（東区ささえあいプラン）」及び「アクションプラン」を策定した。 ・東区の地域包括ケアシステムは、高齢者をはじめ、子どもや障がい者等すべての住民が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし、「おたがいさま」の心で支え合えるまちを、住民と共につくることを目指し、健康づくりや防災の視点も含めた包括的な「まちづくり」を推進するための方針であり、この方針について東区民に広く周知するとともに、行政・関係団体・住民等一体となって取り組むことが必要である。
8	福祉（高齢者・障がい者・子育て）問題	委員	地域包括ケアシステムの課題と対応策について	今後の超高齢社会、独居老人の増加を含め認知症人口の増加が懸念される中、大切な介護予防、包括支援センターも余力がない今、地域の資源とマンパワーでできることは何か。リハビリ以外での地域活動を活かした解決策を見出したい。
9	福祉（高齢者・障がい者・子育て）問題	委員	障がい者に対する理解の促進	東区は障がいのある方が多く住んでいる地域でもあり、福祉サービスも多い地域である。今後も障がいがあってもなくても安心して住める地域であるために、広く理解を進めていくことが大切だと感じているため。
10	地域コミュニティ（地域の担い手不足）	事務局	地域の担い手不足の解消	自治会町内会や老人会などの役員のなり手の不足と高齢化が進んでいる。 地域活動を活発にしていけるためには、若い世代の担い手の発掘や、定年退職する団塊の世代などを対象に地域活動への参加を呼びかけていく必要がある。
11	地域コミュニティ（地域の担い手不足）	委員	地域の各団体の担い手不足、高齢化を少しでも解消するための対策。	例えば交通安全協会、防犯協会の担い手不足、高齢化は直接、学校の児童生徒の安全確保に大きな影響があることなので。
12	地域コミュニティ（地域の担い手不足）	委員	町内活動への協力者が少ない。 （限定した人での運営になっている）	町内活動の中では、動く人、協力者が必要。 クレーマー対応で時間がとられる。 意見よりもまず動くことが最も求められていると考えていますが、現実には意見が提案か課題かあるべき姿は言うのですが、協力者は少ない。これが逆にならないと上手くいかないと考えています。
13	地域コミュニティ（地域の担い手不足）	委員	地域活動に関心がある人が少ない。	地域活動を行うのにボランティアを集めるのが大変である。イベントを開いても参加者が少ない。
14	地域コミュニティ（地域・世代間交流）	委員	小学校部活動民間委託による放課後の居場所づくり	来年度までで小学校の部活動が外部委託になる。クラブチーム等は夜9～10時迄の練習も多く、子の生活リズムに支障が懸念されるとともに、月謝が高い、相対的貧困の率が高い校区もある中、画期的に子が栄え、学び、体験の場があると良いのではと思います。その場にP1の「8」で提案した、前期・後期高齢者（スキルを持った）の参加があり、持っているスキルの継承、コミュニティが確立できれば互いにとっても良い相互関係が築ける。
15	地域コミュニティ（地域交流）	委員	高齢者の参加が少ない	・老人クラブが月一回開催されるが157名中30人程度の参加しかない。 ・敬老の集いも対象者683名中157名の参加しかない。
16	地域コミュニティ（地域交流）	事務局	自治会加入率の向上	地域には、交通安全や防犯、子育て問題など個人では解決できない地域の課題が存在しており、さらには、高齢化の進展に伴い、高齢者の孤独死が数多く発生することが予想される。 これらの課題を解決していくためには、これまで以上に地域住民の結束が必要であり、自治会はそのまとめ役としての機能を果たすことが求められるが、東区では自治会の加入率は低下傾向にあるため、自治会への加入を促していく必要がある。
17	地域コミュニティ（地域交流）	委員	世代間交流 担い手不足 地域の商工会・繁栄会等との連携・ネットワークづくり	地域にある全てに目をむけ、課題の整理やマッチングする必要がある。
18	地域コミュニティ（地域交流・地域情報発信）	委員	まちのブランド力（地域活動者、情報発信、エリア間競争、人口混入など） 地域団体の混在ならび、情報集約、発信、共有のあり方（市P・県Pなど 訪笑クラブ、おやじの会など） PTAなど各種団体の男女比ならび、役割分担の非効率	上記のような各種団体での表舞台は男性と年配者。女性の登用、子育て世代の女性の参加など、地域の子供たちのためには、もっと女性が台頭すべきだと思うのですが・・・!？

2.分野別に分類（案）

分野別		提案数（該当No.）	グループ（案）
1	安全・安心	3（No.1～3）	1 班
2		防犯（子どもの見守り）	
3	福祉問題	被災者支援	2 班
4		高齢者・障がい者・子育て	
5	地域コミュニティ	地域の担い手不足	3 班
6		地域・世代間交流、地域情報受発信	
合 計		18（No.1～18）	

【備考】
グループ毎に議事進行役として地域担当職員、グループメンバーからの質疑
応答の対応のために担当課の職員が同席します。